

# 亶理町立郷土資料館年報

第20号  
(平成29年度)



悠里館

亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地  
電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709  
E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp



## はじめに

平成6年10月に開館した亘理町立郷土資料館は、平成29年度で23周年を迎えました。

29年度は、常設展示入口で開館から上映しているプロローグ映像の「わが郷土 亘理」を更新し、タイトルも「わたしたちのまち 亘理」と改め、平成30年2月27日から上映を開始しました。上映時間は約10分で、これまでの亘理町の歩みと町内に数多く残っている文化財を紹介する内容の濃い映像に仕上がっています。ぜひご覧ください。

展示事業では、企画展「子どもたちとおもちゃ」を10月から11月まで開催し、子どもたちにとって宝物であるおもちゃを通して、暮らしの移り変わりやおもちゃとの関わりを知る機会としました。

夏のテーマ展「亘理伊達家の資料」を7月から8月まで開催し、「伊達成実」「伊達政宗と亘理伊達家」「亘理伊達家の武具甲冑」「亘理伊達家の調度品」「亘理伊達家家臣の資料」「亘理伊達家の北海道移住」の6コーナーに分けて展示しました。

春のテーマ展「文豪たちの筆跡 ～江戸清吉コレクションの原稿・手紙・短冊～」を平成30年2月から3月まで開催し、コレクションを「原稿」「手紙・はがき」「短冊・色紙」の3テーマに分けて展示し、併せて現在進行中の海水被害・カビや虫害などの修復作業についても紹介しました。

教育普及事業では、昨年から10月に開催している郷土資料館町民講座「ものしり大学院」は、「はらこめし」の旬に合わせて、亘理町の伝統料理や食材、食の歴史など亘理の食文化について学ぶ機会としました。

また、毎年多くの申し込みをいただいている夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」や年中行事講座「おひなさまを作ろう」も好評でした。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。どうか今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成29年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成30年8月

亘理町立郷土資料館

館長 渡 辺 壮 一

# 目 次

1	平成29年度の主な事業と活動	1
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	2
	〔2〕 事務分掌	2
3	展示	
	〔1〕 常設展示	3
	〔2〕 企画展示	3
	〔3〕 テーマ展示	4
	〔4〕 収蔵資料展示	6
4	無料開放事業	
	〔1〕 「どこでもパスポート」事業	6
	〔2〕 無料開放	9
5	教育・普及	
	〔1〕 講座等	10
	〔2〕 学社融合推進事業	12
	〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業	14
	〔4〕 オープンミュージアム	14
	〔5〕 学校教育関連	15
	〔6〕 刊行物等	16
	〔7〕 博物館実習	16
	〔8〕 その他	17
6	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	18
	〔2〕 寄託資料	19
	〔3〕 常設展示借用資料	19
	〔4〕 資料貸出	19
7	観覧者数の推移	
	〔1〕 平成29年度月別観覧者数	20
	〔2〕 年度別観覧者数	20
8	予算	21
9	職員名簿	21
10	利用案内	21

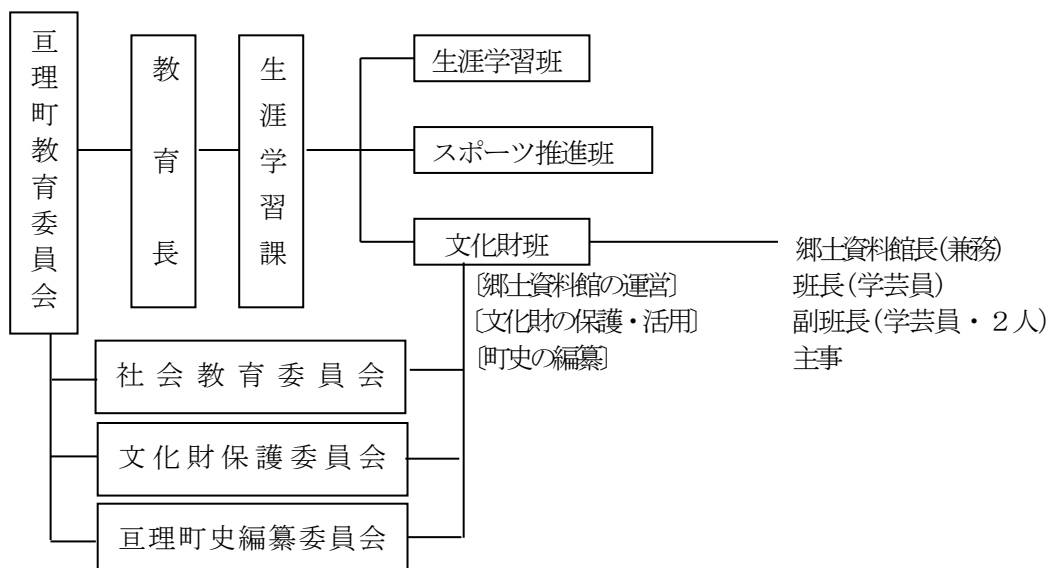
## 1 平成29年度の主な事業と活動

29.	4	広報紙「郷土しりょうかん」第134号発行
	4/29～5/7	ゴールデンウィーク特別開館事業(5/5こどもの日記念無料観覧日)
	4/29～6/25	第20回収蔵資料展
	5/17	宮城県南資料館等連絡協議会総会(亶理町)
	6	広報紙「郷土しりょうかん」第135号発行
	7/5	宮城県博物館等連絡協議会総会・第1回研修会(多賀城市)
	7/21～8/27	テーマ展「亶理伊達家の資料」
	7/21～8/27	夏休みどこでもパスポート利用促進事業「ちょこっと体験」
	8	広報紙「郷土しりょうかん」第136号発行
	8/15～20	博物館実務実習
	8/16	伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日
	8/19	夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」
	10	広報紙「郷土しりょうかん」第137号発行
	10/7～11/26	企画展「子どもたちとおもちゃ」
	10/15	郷土資料館町民講座「ものしり大学院～亶理の食と仙台藩の食～」
	10/20	学社融合推進事業「亶理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)
	10/26	学社融合推進事業「亶理用水学習会」学芸員派遣(亶理小学校)
	11/3	文化の日特別開館「オープンミュージアム」(文化の日記念無料観覧日)
	12	広報紙「郷土しりょうかん」第138号発行
	12/20	宮城県南資料館等連絡協議会 第1回役員会(丸森町)
30.	1/16	伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日
	1/19	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(亶理小学校)
	1/23	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(高屋小学校)
	1/24	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(長瀬小学校)
	1/31	宮城県南資料館等連絡協議会 担当者研修会(丸森町)
	2	広報紙「郷土しりょうかん」第139号発行
	2/1	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(逢隈小学校)
	2/21	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(吉田小学校)
	2/17～3/18	テーマ展「文豪たちの筆跡～江戸清吉コレクションの原稿・手紙・短冊～」
	2/18～3/4	亶理伊達家雛人形公開
	2/24	年中行事講座「おひなさまを作ろう」
	2/27	宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市)
	3/3	ひなまつり記念無料開館日
	3/27	宮城県南資料館等連絡協議会第2回役員会(丸森町)

## 2 組織・運営

### 〔1〕 組織図・職員構成

平成29年4月1日現在

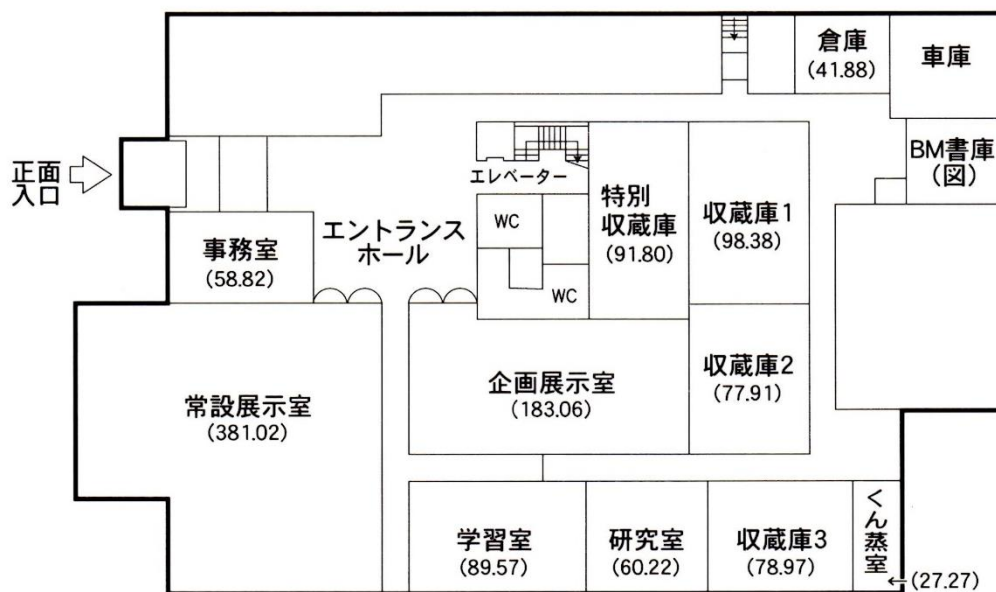


### 〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

### 資料館平面図



※ ( ) 内は面積、単位は㎡

### 3 展 示

#### 〔1〕 常設展示

郷土資料館の常設展示入口で開館から23年間上映しているプロローグ映像の「わが郷土 亙理」を更新し、タイトルも「わたしたちのまち 亙理」と改め、平成30年2月27日から上映を開始した。

#### 〔2〕 企画展示

##### 企画展「子どもたちとおもちゃ」

期 間 平成29年10月7日(土)～11月26日(日)

開館日数 40日

会 場 企画展示室

観覧者数 901人 1日平均23人

観 覧 料 一般：100円、高校生：50円(常設展示観覧者は無料)、小中学生：無料

※ 障害者手帳提示者：本人と介護者1名は半額(高校生は20円)

##### 【趣 旨】

子どもたちにとって、おもちゃは宝物だ。いつの時代も子どもたちはおもちゃで遊び、仲間とコミュニケーションを取り、さまざまなことを学んできた。また、昭和から平成にかけて、人びとのくらしの移り変わりとともに、おもちゃも変わってきた。

今回は、おもちゃを通して子どもたちとおもちゃの関わり、くらしの移り変わりを知る機会とした。

##### 【展示内容】

竹や木片、布で作られた手作りのおもちゃ、当時のアニメや漫画を題材にしたおもちゃ、技術の進歩により誕生し、今も進化を続けているテレビゲームなど、昭和20年代から現代に至るまでのさまざまなおもちゃを3コーナーに分けて展示した。

<昭和初期から昭和30年代前半> ～手作りのおもちゃと店屋のおもちゃ～

展示物…ずんぐり・竹トンボ等の手作りおもちゃ、ぱった(めんこ)、  
ビー玉、おはじき、すごろく、雑誌他

<昭和30年代後半から昭和40年代> ～テレビ時代のおもちゃ～

展示物…ブリキのおもちゃ、ヒーロー・ヒロインもの、フラフープ、  
ダッコちゃん人形、ベーゴマ、白黒テレビ、雑誌他

<昭和50年代から平成へ> ～豊かなくらしの中のおもちゃ～

展示物…ゲーム機器、たまごっち等流行もの、パソコン、雑誌他

体験コーナー

##### ① むかしのおもちゃ体験

コマ、おはじき、かるた、すごろくなど、長きにわたり親しまれてきたおもちゃを体験した。

##### ② 茶の間再現

昭和40年代の茶の間を再現し、子ども向け雑誌を読むことができるようにした。また、昭和50年代のゲーム機器やボードゲームなどを体験した。



▲昭和40年代の茶の間を体験



▲手作りのおもちゃ

### 〔3〕 テーマ展示

#### 夏のテーマ展「亙理伊達家の資料」

期 間 平成29年7月21日～8月27日  
開館日数 30日  
会 場 企画展示室  
観覧者数 668人 1日平均23人  
観 覧 料 常設展示観覧料



▲竹に雀雪薄紋空穂

#### 【趣 旨】

当館では、「亙理伊達家の資料」を重点的に収集している。開館当時は、収集した資料は企画展示室に常時展示していたが、平成15年度以降は、資料の保存状態を考慮し、期間を定めて展示を行っている。

29年度は、「亙理伊達家の資料」を6つのコーナーに分けて展示した。

#### 【展示内容】

##### ◎「伊達成実」コーナー

戦国時代には伊達政宗の片腕として活躍し、江戸時代には亙理の基礎を築いた伊達成実についての解説と資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達成実画像(複製)、伊達成実書状2点(志賀備後宛て、牛坂空助宛て)、政宗記、仙道  
絵図他

展示資料(パネル等)…概説パネル、成実木像写真、成実霊屋写真

##### ◎「伊達政宗と亙理伊達家」コーナー

伊達政宗と亙理伊達家のかかわりについて、解説と資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達政宗書状2点(成実宛て、宗実宛て)、伊達宗実和歌掛軸、伊達実元書状

展示資料(パネル等)…概説パネル、伊達家関連図、亙理伊達家歴代解説

##### ◎「亙理伊達家の武具甲冑」コーナー

亙理伊達家家臣が着用した甲冑、亙理伊達家及び家臣が所持していた刀剣、武具類を展示した。

展示資料(実物)…黒漆五枚胴具足他2領、武田斐子氏所有刀剣、伊達市からの寄贈刀剣、空穂、火縄銃他

展示資料(パネル等)…概説パネル

##### ◎「亙理伊達家の調度品」コーナー

十四代当主伊達邦成の義母である貞操院(仙台藩主伊達慶邦の妹)の資料と伊達市から寄贈された亙理伊達家の調度品などを展示した。

展示資料(実物)…夜着、手鏡、笥迫、食器類、道中湯沸し他

展示資料(パネル等)…概説パネル

##### ◎「亙理伊達家家臣の資料」コーナー

郷土資料館で所持している亙理伊達家家臣たちの資料や古文書を展示した。

展示資料(実物)…御黒印、二階堂文書、志賀家文書、文箱、矢立他

##### ◎「亙理伊達家の北海道移住」コーナー

郷土資料館で所持している北海道移住に関する資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達邦成画像、小野潭画「伊達開拓歴史画」4点他

展示資料(パネル等)…概説パネル



▲橘文様夜着



## 春のテーマ展「文豪たちの筆跡～江戸清吉コレクションの原稿・手紙・短冊～」

期 間 平成30年2月17日～3月18日  
開館日数 25日  
会 場 企画展示室  
観覧者数 552人 1日平均23人  
観 覧 料 一般：100円(常設展示観覧者は無料)  
高校生以下：無料  
※ 障害者手帳提示者：本人と介護者1名は半額



### 【趣 旨】

#### ▲震災から救われた資料

江戸清吉コレクションとは、荒浜江戸家の四代江戸清吉氏（1884－1938）が収集した明治から昭和にかけて活躍した作家、芸術家、思想家、政治家、学者など著名人たちの作品群のことで、原稿、手紙・はがき、絵画など多岐にわたる。全国的に名の知られた人物の作品が多い特徴がある。また、現在、再評価されている人物の作品もあり、貴重な資料となっている。

コレクションは、宮城県沖地震（1978年）で蔵から発見されて話題となり、その後、東日本大震災（2011年）で多くが被災し、文化財レスキュー活動によって救出され、郷土資料館で保管している。

郷土資料館では、コレクションの整理・修復を進める一方、大学や研究機関と連携して研究活動も行っており、平成26年度と28年度には企画展を開催して大きな反響があった。

今回は、コレクションを3テーマに分けて展示し、併せて現在進行中の海水被害・カビや虫害などの修復作業についても紹介した。

### 【展示内容】

#### ◎テーマ1 ～原稿～

著名人の小説、随筆、評論など直筆原稿は240点ほどあり、雑誌や新聞等に掲載されおろし未発表の原稿はないが、出版社によるチェックの跡が残っているため、本人直筆であることが確認できる。ここでは、代表的な作家の作品を取り上げ、作家たちの筆遣いを見るとともに、コレクションの特徴を紹介した。

展示物…夏目漱石、森鷗外、石川啄木、齋藤茂吉、芥川龍之介、川端康成、島崎藤村、坪内逍遙ほか

#### ◎テーマ2 ～手紙・はがき～

作家、美術家、政治家、軍人、思想家など、著名人が書いた手紙・はがきは400点ほどあり、大半は古書店や美術商から購入したものだが、本人から清吉氏に宛てられたものもある。内容は個人の私信、仕事に関わるもの、出版社のアンケート回答など、清吉氏に送られた手紙・はがきはコレクションに関わるものが多いことが特徴になっている。ここでは、主要な作品を取り上げ、その内容について紹介した。

展示物…芥川龍之介、齋藤茂吉、森鷗外、石川啄木、与謝野晶子、柳原燐子、尾崎行雄、勝海舟、正岡子規、竹久夢二、野口雨情、永井荷風、国木田独步、谷崎潤一郎、高浜虚子ほか

#### ◎テーマ3 ～短冊・色紙～

著名人たちが短冊や色紙に書いた俳句、川柳、短歌、漢詩、熟語、絵などの作品も大量にあり、多くは台紙に貼られて綴られた状態で被災し詳細は不明であったが、昨年度より実施している修復作業によって幅広い分野の作品と分かった。ここでは、主要な作品を展示するとともに、修復作業を紹介して資料の保存について考えた。

展示物…夏目漱石、森鷗外、幸田露伴、尾崎紅葉、与謝野晶子、齋藤茂吉、平塚らいてふ、北原白秋ほか

## 〔4〕 収蔵資料展示

### 「第20回収蔵資料展」

期 間 平成29年4月29日(土・祝)～6月25日(日)  
開館日数 49日  
場 所 企画展示室  
観覧者数 892人  
観 覧 料 常設展示観覧料



▲スケート靴

### 【趣 旨】

郷土資料館開館以前から教育委員会で収集していた郷土資料に加え、開館以後も継続して資料収集を行っているため収蔵資料は充実してきている。これに伴い、亙理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマや展示スペースの制限上、公開される機会のない資料が増加したため、これらを平成8年度から年度ごとに順次展示公開することとした。

### 【展示内容】

平成26年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示した。総展示数は252点。

項 目	点 数	項 目	点 数
衣・食・住	22	民俗知識	10
生産・生業	11	競技・娯楽・遊戯	3
交通・運輸・通信	1	軍事・戦争	2
社会生活	25	文書・書籍・地図	173
信仰	2	その他	3



▲荒浜救難所警鐘

## 4 無料開放事業

### 〔1〕 「どこでもパスポート」事業

平成14年4月から開始された学校週5日制の完全実施に伴い、仙台都市圏を構成する14市町村立の社会教育施設を、仙台都市圏内の小中学生に無料開放する「どこでもパスポート」事業が始まった。当館も対象施設として、これまで町内の小中学生を対象に第2・第4土曜日に実施していた展示室の無料開放を、毎週土・日曜日、春休み・夏休み・冬休みの長期休業日期間中に変更した。平成18年度からは「どこでもパスポート」実施要綱の改正に伴い、どこでもパスポートの利用対象日を開館日の全てに変更した。

加えて、どこでもパスポート事業開始後、仙台都市圏外の地域でも同様の事業が開始され、平成15年度からは仙南地域広域圏内、16年度からは石巻広域圏内、大崎広域圏内、登米広域圏内(現登米市圏)、17年度からは気仙沼・本吉地域広域圏、18年度からは栗原市圏の小中学生に対しても同様に展示室の無料開放を開始した。同時に仙台都市圏内の小中学生も「どこでもパスポート」を提示することで、仙南地域・石巻・大崎広域圏内、登米市圏、気仙沼・本吉地域広域圏、栗原市圏の指定施設を無料で利用できるようになった。

◆仙台都市圏14市町村(仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・富谷市・亙理町・山元町・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村)

◆仙南地域広域圏9市町「AZ9パスポート」

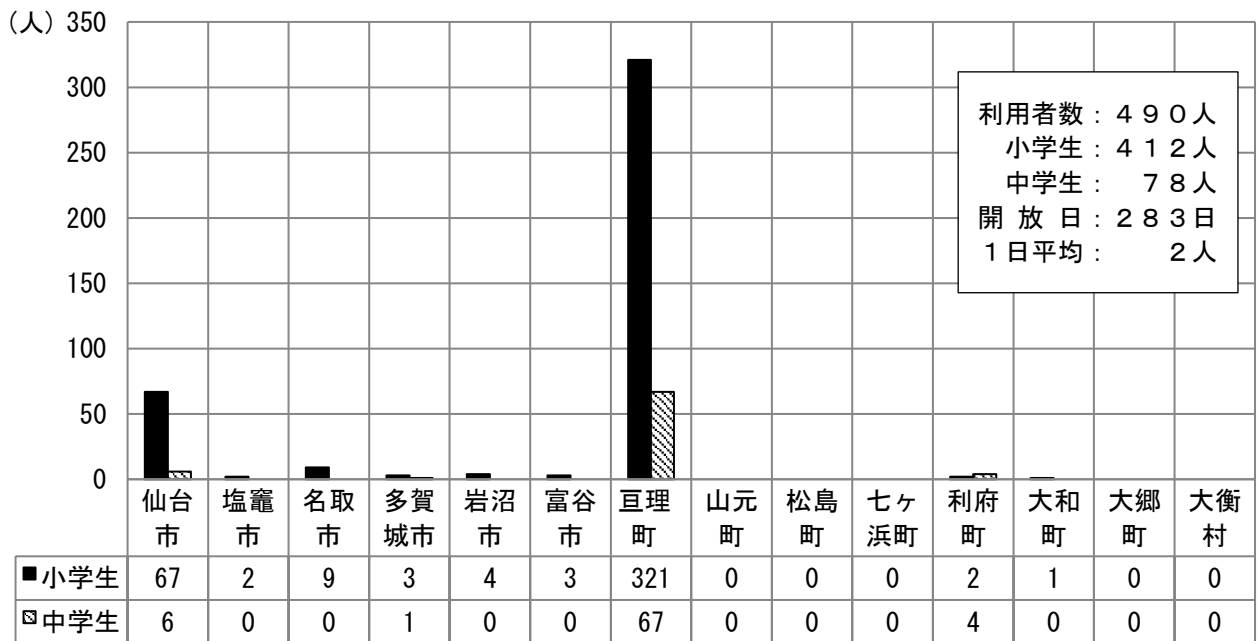
(白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町)

- ◆石巻広域圏3市町「ゆうゆうパスポート」(石巻市・東松島市・女川町)
- ◆大崎広域圏5市町「大崎ゆめっこパスポート」(大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町)
- ◆登米市「とめジュニアパスポート」
- ◆気仙沼・本吉地域広域圏4市町「フリーパスポート」(気仙沼市・南三陸町・本吉町・唐桑町)
- ◆栗原市「くりはらグリーンパスポート」

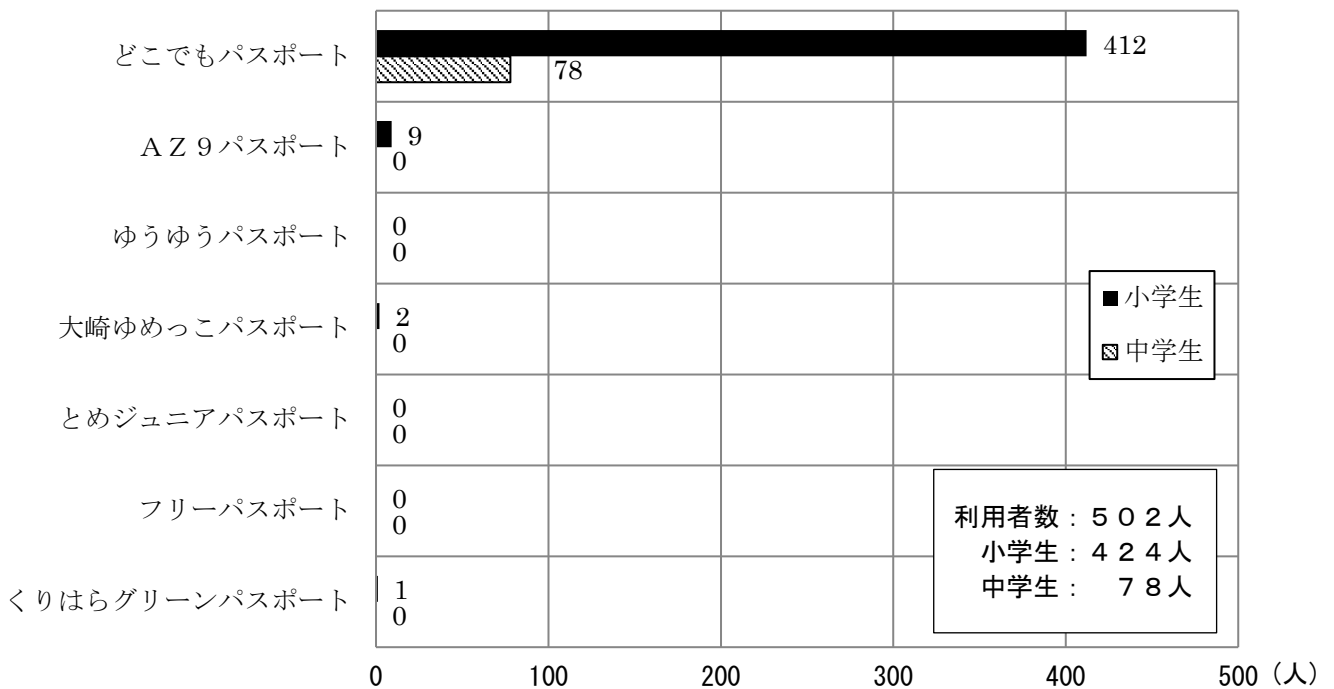
### 仙台都市圏等小中学生対象施設

市町村名	施設名	市町村名	施設名
仙台市	博物館、科学館、天文台、縄文の森広場、 歴史民俗資料館、富沢遺跡保存館、 八木山動物公園、野草園、秋保大滝植物園、 仙台文学館、戦災復興記念館資料展示室、 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、 宮城県美術館、 東北大学理学部自然史標本館、 東北大学植物園	亘理町	郷土資料館
		山元町	歴史民俗資料館
		松島町	観瀾亭松島博物館、自然植物園福浦島
		大和町	原阿佐緒記念館、宮床宝蔵、 七ッ森陶芸体験館
		大衡村	ふるさと美術館
白石市	白石城、白石城歴史探訪ミュージアム、 片倉家中武家屋敷「旧小関家」	七ヶ宿町	水と歴史の館
		村田町	野外活動センター
角田市	スペースタワー・コスモハウス	丸森町	蔵の郷土館・齋理屋敷
蔵王町	みやぎ蔵王こけし館、 宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター	登米市	教育資料館、登米懐古館、 水沢県庁記念館、警察資料館、 伝統芸能伝承館森舞台、 不老仙館(登米市民俗資料館)、 石ノ森章太郎ふるさと記念館、 チャチャワールドいしこし、 高倉勝子美術館「桜小路」
石巻市	石ノ森萬画館、国指定名勝「齋藤氏庭園」、 民俗資料館・天保の家		
東松島市	奥松島縄文村歴史資料館		
大崎市	吉野作造記念館、大崎生涯学習センター プラネタリウム館、松山ふるさと歴史館、 松山酒ミュージアム、 鎌田記念ホール(鎌田三之助展示室)	気仙沼市	リアス・アーク美術館
		南三陸町	ひころの里
加美町	宗左近記念縄文芸術館、 芹沢長介記念東北陶磁文化館、 墨雪墨絵美術館、切込焼記念館	栗原市	白鳥省吾記念館、山王考古館、 一迫埋蔵文化財センター、 細倉鉦山資料館、金成歴史民俗資料館、 仙台藩花山村寒湯番所跡、 剣豪・千葉周作ゆかりの家狐雲屋敷 (旧佐藤家住宅)
涌谷町	史料館、くがね創庫		

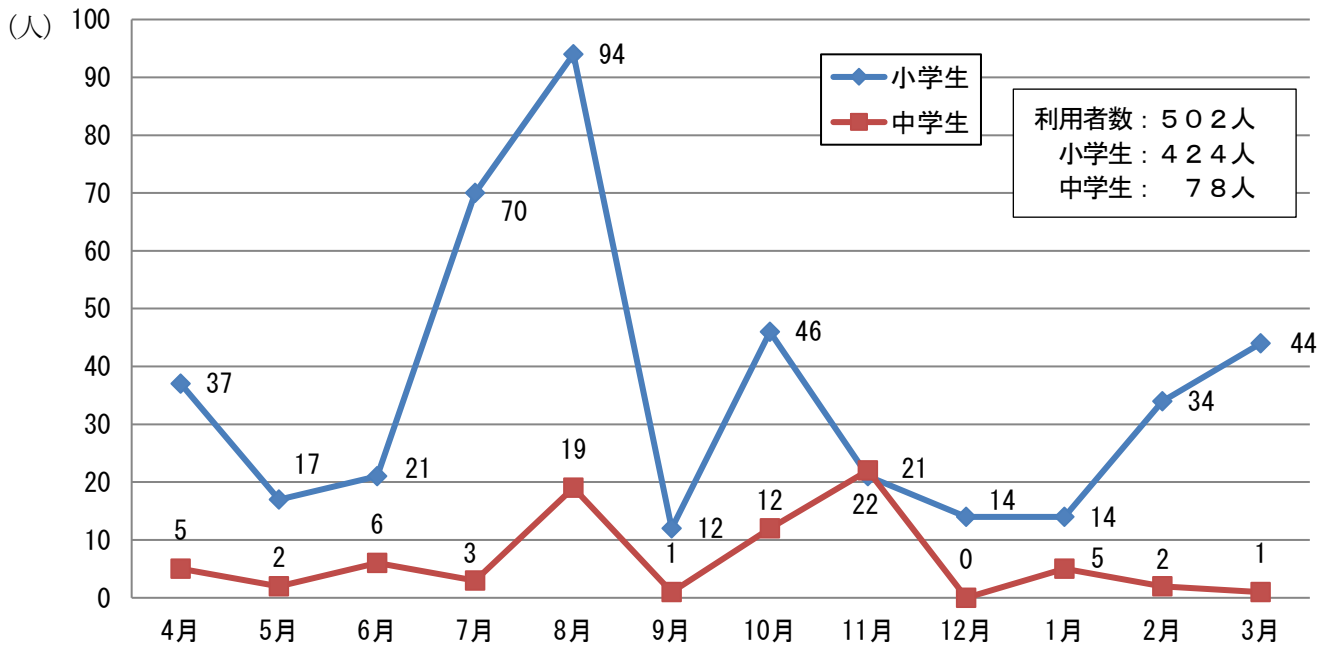
### 「どこでもパスポート」市町村別利用者数



### パスポート別利用者数



## 「どこでもパスポート」ほか各種パスポート月別利用者数



## 〔2〕 無料開放

亙理の歴史や文化などについて広く普及を図るため、平成9年度からこどもの日(5月5日)と文化の日(11月3日)に展示室を終日無料開放しており、加えて平成24年度からは3月3日のひなまつり、平成26年度からは伊達成実霊屋御開帳日(8月16日、1月16日)にも無料開放している。

### 1. こどもの日(5月5日)

春の大型連休期間を利用し、郷土資料館により親しんでもらうために開催した「ゴールデンウィーク特別開館」事業の一環として、観覧料を無料とした。

観覧者数：288人(一般264人、小中学生24人)



▲こどもの日無料観覧の様子

### 2. 文化の日(11月3日)

亙理の歴史や文化の普及と、郷土資料館の利用促進のために開催した「オープンミュージアム」事業の一環として、観覧料を無料とした。

観覧者数：209人(一般166人、小中学生43人)

### 3. ひなまつり(3月3日)

平成14年に伊達成実公入府400年を記念して亙理伊達、仙台石川両家から寄贈された亙理伊達家の雛人形を、より多くの方々にその由来を知って観賞してもらおうとともに、年中行事ひなまつりの意義の普及を図り、観覧料を無料とした。

観覧者数：140人(一般126人、小中学生14人)



▲ひなまつり無料開館日の様子

#### 4. 伊達成実霊屋御開帳日(8月16日・1月16日)

8月16日と1月16日の年に2回行っている、県指定文化財「伊達成実霊屋」の御開帳にあわせて、参拝者が亙理伊達家や亙理の歴史について理解を深めることができるよう、常設展示の観覧料を無料とした。

観覧者数 8月16日 160人(一般136人、高校生0人、小中学生24人)  
1月16日 73人(一般73人、高校生0人、小中学生0人)

## 5 教育・普及

### 〔1〕 講座等

#### 1. 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」

夏休みに、郷土資料などを活用して亙理の歴史・文化を理解するとともに、もの作りの体験をとおして先人の知恵にふれて考える機会を作り、他校児童との交流をとおして仲間作りを進めることを目的とした講座を、町内小学校児童を対象に行った。受講生の募集については、小学校をとおして募集チラシを配付した。

日時 8月19日(土) 午前10時～12時

会場 郷土資料館 学習室

参加者 23人

材料費 200円

内容 亙理町に数多く存在する横穴墓や、そこから出土した刀や勾玉などの副葬品について講話を受けた後、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。



▲勾玉を作る子どもたち

#### 2. 年中行事講座「おひなさまを作ろう」

家庭で行われる年中行事にはそれぞれ意味があることをひなまつりを事例に伝え、年中行事に関わるもの作りをとおして、親子・家族のふれあいの機会を増やすとともに、年中行事および地域文化への関心を高める機会として行った。

日時 平成30年2月24日(土)

午前9時30分～12時20分

場所 郷土資料館 学習室、常設展示室

材料費 600円

参加者 20人

内容 ひなまつりについて講話を受けた後、緞子で雛人形を製作した。



▲完成した雛人形

#### 3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度に開始したこの事業は、毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

今回は「はらこめし」の旬に合わせて開催し、亙理町の伝統料理や食材、食の歴史など亙理の食文化につ

いて学ぶ機会とした。

テーマ 「亶理の“食”と仙台藩の“食”」

日時 平成29年10月15日(日) 午後1時30分～3時30分

会場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)

講師 佐藤敏悦 氏(東北民俗の会会長)

聴講者 60人

内容

「亶理は、米、魚、野菜、果物と食材豊かな地域でありながら“はらこめし”以外にこれといった伝統料理がないのは、明治初期に起きた亶理伊達家の北海道移住に起因している。亶理には伝承者がいなくなり、移住先の北海道には伝承するための食材がない、この事象は仙台藩全体に言える。」と食文化の歴史的背景が話された。

また、豊富な食材の中から“はらこめし”の材料でもあり江戸時代より名産品であった阿武隈川産の鮭を取り上げ、鮭を使った料理について江戸時代の料理集や荒浜の鮭を買い求めた村田町の紅花商人の契約講帳の献立から紹介されました。紹介された鮭料理の数々は本来ならば亶理にも伝わっていたものと考えられ、仙台藩の食文化と亶理の食文化は大きく通じる部分があり、この機会に近代の食を再構築してほしいとまとめられた。



▲ものしり大学院

#### 4. 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「郷土資料館ちよこつと体験」

亶理町の歴史に関連した体験や普段は見ただけの展示品にふれることで、子どもたちの昔のくらしぶりや歴史に対する意欲・関心を向上させるとともに、「どこでもパスポート」の利用促進を目的として行った。

期間 平成29年7月21日(金)～8月27日(日)

会場 常設展示室

内容

◎展示室体験コーナー

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける。
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる。
- ③切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亶理伊達家家紋の切り絵に挑戦。
- ④色をぬってみよう：しげざねくんと亶理伊達家家紋のぬり絵に挑戦。
- ⑤帳場に座ってみよう：展示資料の帳場に座る。
- ⑥ヒトリヌリに乗ってみよう：展示資料のヒトリヌリに乗る。
- ⑦回してみよう：展示資料のジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す。
- ⑧文化財パズルに挑戦しよう：指定文化財などのパズルに挑戦。



▲縄文をつけてみようコーナー



▲帳場に座ってみようコーナー

## 〔2〕 学社融合推進事業

この事業は平成12年度から行っており、町内小学生を対象として、総合学習や社会科の中で亘理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料に触れ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

### 1. 出前講座「移動しりょうかん」

#### 「昔の道具とくらし」

実施校：5校（11クラス）

参加人数：275人



▲洗濯板を使った洗濯を体験する児童

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
亘理小学校 3年生 (4クラス)	平成30年 1/19 (金)	9:30 ～ 14:35	体育館 MTルーム	138	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板を使った洗濯」をグループごとに体験した。</li> </ul>
高屋小学校 3年生 (3クラス)	1/23 (火)	9:30 ～ 11:25	図工室	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板を使った洗濯」「箱枕に寝てみる」「手燭に立てたろうそくに火をつけ運ぶ」を体験した。</li> <li>・ランプ、行燈、黒電話、蓑、むかしのお金などを紹介。</li> </ul>
長瀬小学校 3年生 (1クラス)	1/24 (水)	9:30 ～ 11:25	家庭科室 廊下	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「石臼を回してみよう・ろうそくの火つけ」をグループごとに体験した。</li> <li>・蓄音器やランプなどの昔のくらしの道具の紹介。</li> </ul>
逢隈小学校 3年生 (2クラス)	2/1 (木)	9:30 ～ 11:30	家庭科室 廊下	76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板を使った洗濯」「石臼を回してみよう」をグループごとに体験した。</li> <li>・蓄音器やランプなどの昔のくらしの道具の紹介。</li> </ul>



吉田小学校 3年生 (1クラス)	2/21 (水)	10:40 ～ 12:20	体育館 MTルーム	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板を使った洗濯」「ろうそくに火をつけ手燭で運ぶ」を順番に体験した。</li> <li>・蓄音器やランプ、箱枕、石臼、蓑、火鉢、火消壺などの昔のくらしの道具の紹介。</li> </ul>
------------------------	-------------	---------------------	--------------	----	---

## 2. 「学芸員の派遣」

### 社会科「亘理用水」に関する学習会

実施校：2校（6クラス）

参加人数：221人



▲もっこを体験する児童

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内 容
逢隈小学校 4年生 (3クラス)	10/20 (金)	10:30 ～12:15	逢隈小学校 体育館	102	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土しよい箱)、ジャバラなど用水を作ったときの道具や農作業の道具を展示した。</li> <li>・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。</li> </ul>
亘理小学校 4年生 (3クラス)	10/26 (木)	10:00 ～12:00	亘理小学校 体育館	119	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土しよい箱)、ジャバラなど用水を作ったときの道具や農作業の道具を展示した。</li> <li>・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。</li> </ul>

## 3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校：民俗資料室平成26年9月1日再開

### [3] ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。5月5日には、こどもの日を記念してイベントを開催した。

日 時 平成29年4月29日(土・昭和の日)～5月7日(日)

内 容

◎常設展示室内に体験コーナーを設置

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける。
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる。
- ③色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦。
- ④かぶとかざりを作ろう：厚紙でかぶとかざりを作る。
- ⑤ヒトリヌリに乗ってみよう：展示資料のヒトリヌリに乗る。
- ⑥回してみよう：展示資料のジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す。
- ⑦文化財パズルに挑戦しよう：指定文化財などのパズルに挑戦。

◎こどもの日記念無料観覧日

こどもの日を記念して観覧料を無料とし、先着100人の観覧者にはオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

◎イリュージョンマジックショー

日 時 5月5日(木・こどもの日)

1回目 11:00～10:35

2回目 13:00～11:35

会 場 視聴覚ホール(悠里館3階)

来場者 111人

内 容 プロマジシャンSHINYA氏がイリュージョンマジックを披露した。



▲マジックショーの様子

### [4] 「オープンミュージアム」

亘理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、常設展示室と企画展示室を無料開放し、昔の道具を体験するコーナーを設けたほか、企画展示に関連した催しを行った。

日 時 平成29年11月3日(金・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、エントランスホール、学習室)

観覧者数 209人

(一般166人、小中学生43人)

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホールにおいて、亘理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亘理杵取り舞」をそれぞれの保存会が披露した。

牛袋法印神楽は全12幕のうち「猿田彦舞」「種蒔舞」を、



▲郷土芸能演舞会「牛袋法印神楽」

亘理杵取り舞は全10番のうち1・3・5・7番を演じ、その後、紅白餅まきを行った。また、同じく町指定無形民俗文化財の「亘理獅子舞」の獅子装束を常設展示室に展示した。

◎文化の日記念無料観覧日

文化の日を記念して観覧料を無料とし、先着100人の観覧者にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①わたりんぬり絵をやってみよう
- ②紋切り(切り紙)をやってみよう
- ③昔のテレビゲームに挑戦しよう
- ④昔の雑誌を読んでみよう
- ⑤昔の遊びをやってみよう



▲昔の遊びを体験



▲郷土芸能演舞会「亘理杵取り舞」

〔5〕 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町教育委員会が、町の歴史への理解を深め、文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を小学6年生（10クラス291人）と教職員18人が資料館職員の解説を聞きながら見学した。

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亘理小学校	3	110	5月10日、11日、12日
荒浜小学校	1	22	6月21日
吉田小学校	1	23	6月16日
長瀬小学校	1	36	6月8日
逢隈小学校	3	94	5月31日、6月1日、6月22日
高屋小学校	1	6	6月7日



▲ 文化財めぐり「三十三間堂官衙遺跡」



▲ 文化財めぐり「伊達成実 霊屋」

## 2. 社会見学等

遠足や教育課程に基づく学習活動の一環として、小学校児童が常設展や企画展などの見学や収蔵資料の使用体験のため来館した。

来館日	来館者	来館者数	来館目的
9. 6	亘理中学校	2	職場体験学習
10. 18	名取市立館腰小学校	57	2年生の校外学習
10. 19	岩沼西中学校	2	職場体験学習
11. 15	山元町坂元小学校	16	2年生の校外学習
30. 2. 28	亘理小学校	147	3年生の社会見学

## 3. その他

来館日	来館者	来館者数	来館目的
6. 8	尚絅学院大学	35	博物館学見学学習

## 〔6〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第134号～第139号

広報紙としてA4判4ページ（A3判二つ折）を偶数月に発行。

## 〔7〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月15日(火)～8月20日(日)の6日間

実習生 東北学院大学文学部歴史学科3年生1人

実習内容 第1日：ガイダンス、施設の概要説明・見学、庶務管理及び運営について(講話)、文化財について(講話・作業)

第2日：カウンター業務、文化財の保護と活用の実際(講話・作業)、資料の保管について(講話)

第3日：資料の取扱いについて(講話・作業)

第4日：教育普及活動について(講話・作業)

第5日：教育普及活動の実際(夏休み子ども講座の運営補助)、資料の保管について(作業)

第6日：埋蔵文化財について(講話・作業)、実習のまとめ



▲実習生によるカウンター業務体験

## [8] その他

### 1. 講師派遣

- ◆亶理郷土史研究会亶理・吉田合同地区懇談会  
5月25日(木) 亶理町中央公民館 視聴覚室  
講師：班長 菅野達雄 「亶理の歴史と文化を知ろう」の講話
- ◆亶理地区まちづくり協議会「わたりの散歩道～歴史・町めぐり～」  
6月10日(土)  
講師：班長 菅野達雄 「亶理の史跡と石柱めぐり」の現地説明
- ◆認知症カフェ「ちょっころ」講話「まちづくり出前講座」  
6月21日(水)  
講師：副班長 武田恵美 「亶理の伝統・文化を学ぼう」の講話
- ◆利府町野中老壮クラブ  
7月20日(木)  
講師：班長 菅野達雄 「大雄寺」の現地説明
- ◆北海道伊達高校と亶理高校との交流事業  
7月30日(日)  
講師：副班長 鈴木朋子 「大雄寺・亶理神社・郷土資料館」の現地説明
- ◆亶理郷土史研究会地区委員会  
10月10日(火) 亶理町中央公民館 視聴覚室  
講師：主幹 武田恵美 「おらほの祭りにみる亶理の神様―八幡神」の講話
- ◆せんだい豊齢学園研修  
10月18日(水)  
講師：班長 菅野達雄 「大雄寺」の現地説明
- ◆仙台市博物館ボランティア(三の丸)の館外研修  
10月29日(日)  
講師：班長 菅野達雄 「郷土資料館・亶理神社・大雄寺」の現地説明
- ◆いきいき亶理会研修「まちづくり出前講座」  
11月8日(水)  
講師：主幹 武田恵美 「十二支の守護本尊を知って亶理で卦体神めぐり」の講話
- ◆十文字町お茶っこ飲み会研修「まちづくり出前講座」  
11月28日(火)  
講師：班長 菅野達雄 「歴史に学ぼう」の講話
- ◆吉田公民館事業「いきいきエンジョイ倶楽部」  
平成30年2月20日(水)  
講師：班長 菅野達雄 「亶理町の歴史探訪ツアー」の現地説明
- ◆今泉自主防災災害対策本部「まちづくり出前講座」  
3月24日(土)  
講師：班長 菅野達雄 「歴史に学ぼう」の講話

※ ほかに文化財見学案内多数

### 2. 視察研修等の受入れ

- |                    |           |     |
|--------------------|-----------|-----|
| ◆平成29年度新規採用職員施設見学  | 7月12日(水)  | 27人 |
| ◆埼玉県桶川市議会視察研修      | 10月6日(金)  | 8人  |
| ◆北海道紋別市教育委員会教育行政視察 | 10月18日(水) | 6人  |
| ◆兵庫県淡路市副市長他復興状況視察  | 3月11日(日)  | 5人  |
| ◆大分県日出町町長他復興状況視察   | 3月11日(日)  | 6人  |

## 6 資料の収集・保管

### 〔1〕 収蔵資料

#### 1. 資料内訳

資料点数の（ ）内の数字は平成29年度新規収蔵資料

(1) 考古資料 116点

常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 4,723(120)品目 13,172(452)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料：1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～29年度)の収蔵資料：3,693品目 11,390点

≪平成6～29年度収蔵資料分類内訳≫

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,580	7 民俗知識	1,731	12 亘理伊達家・家中	137
2 生産・生業	824	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	368
3 交通・運輸・通信	343	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,513	14 文書・書籍・地図	988
4 交易	1,983	9 人の一生	151	15 美術	737
5 社会生活	713	10 年中行事	151	16 その他	60
6 信仰	100	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 546(1)品目 1,141(1)点

写真：492品目830点 映像・音声：15品目269点(1) 絵・図：39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

#### 2. 寄贈資料

15人 121品目 453点

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	安瀬 康男	亘理町(桜小西)	末家焼(甕、花入れ ほか)	8	37
2	阿部 正子	亘理町(駅前東)	不明(まな板の形状物に文章記載)	1	1
3	菊池 優喜	亘理町(下茨田北)	はがき、給与支払明細書 ほか	7	13
4	小松 明	亘理町(駅前西)	亘理小学校百年誌、鎮魂	2	2
5	齋 清文	亘理町(早川)	亘理郡臥牛館之図(複写)	1	1
6	鈴木 房子	亘理町(下茨田北)	つるし雛飾り	1	17
7	鈴木 稔	亘理町(駅前東)	ミスワタリの募集広告	1	1
8	山形 正志	亘理町(五日町)	柱時計	1	1
9	吉田 ノリ	亘理町(早川)	教科書(修身、算術、習字 ほか)	1	21
10	個人	亘理町(駅前東)	寝巻	1	2
11	合資会社 石垣	亘理町	顕微鏡、プレパラート標本 ほか	93	352
12	琴似屯田子孫会	札幌市	琴似神社参拝土産品	1	1
13	東京都新宿区	東京都新宿区	記念切手シート	1	1
14	東北大学 東北アジア研究センター	仙台市	DVD「亘理荒浜鮭定置網漁」	1	1
15	亘理地区まちづくり協議会	亘理町	記念手拭(日出・亘理獅子舞お披露目記念)	1	2

## 〔2〕 寄託資料

「亙理忠儀記」(亙理町指定文化財)	上町 菊地家 所蔵
船鑑札・漁業鑑札	荒浜 島田家 所蔵
伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点	武田 斐子 氏 所蔵
額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点	岡元 継男 氏 所蔵
脇差1点・刀1点	東條 勝雄 氏 所蔵
刀2点	武者 司 氏 所蔵
幣帛覚帳3点・取子人名記1点	陰山 俊明 氏 所蔵
享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点	山形 正志 氏 所蔵
武者家勤功書上(亙理町指定文化財)ほか 327点	武者 宗悦 氏 所蔵
近世年代早見記(清野日記)	清野 武司 氏 所蔵

## 〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5.7.18～	亙理伊達家コーナー展示、調査研究

## 〔4〕 資料貸出

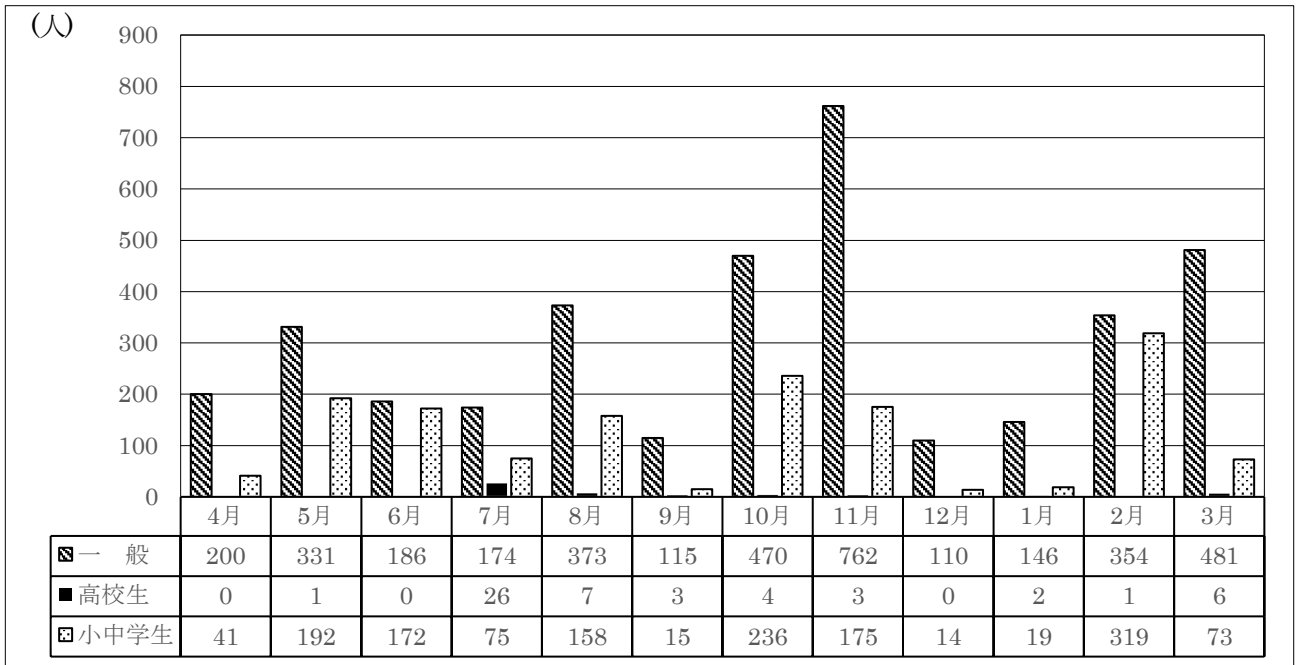
8件 39点

No.	貸出先	目的	資料名	貸出日・期間
1	東北歴史博物館	展示案内図録に掲載	北海道移住の様子を描いた図(複写) 1点	5.30
2	朝日新聞東京本社	紙面へ掲載	森鷗外原稿「北条霞亭」写真 1点	9.20
3	岩沼市教育委員会	岩沼市史『通史編1 原始・古代・中世』への 掲載写真撮影	亙理町椿貝塚出土縄文土器 6点	9.27
4	亙理保育所	稲の脱穀で使用	足踏み脱穀機 1点	10.12～16
5	亙理写真クラブ	文化祭の写真展示	味噌踏みつまご など10点	10.24
6	株式会社碧水社	『週刊ビジュアル戦国 王』第87号へ掲載	伊達成実木像写真 1点	H30. 1.12
7	高屋児童クラブ	児童クラブ事業で使用	卓上手織機 16点	1.25～2.27
8	ロントラ株式会社	BSジャパン「知る食う ロード」で放映	川口神社秋祭り、地引き網漁、 荒浜漁港の写真 3点	3.23

## 7 観覧者数の推移

### 〔1〕 平成29年度月別観覧者数

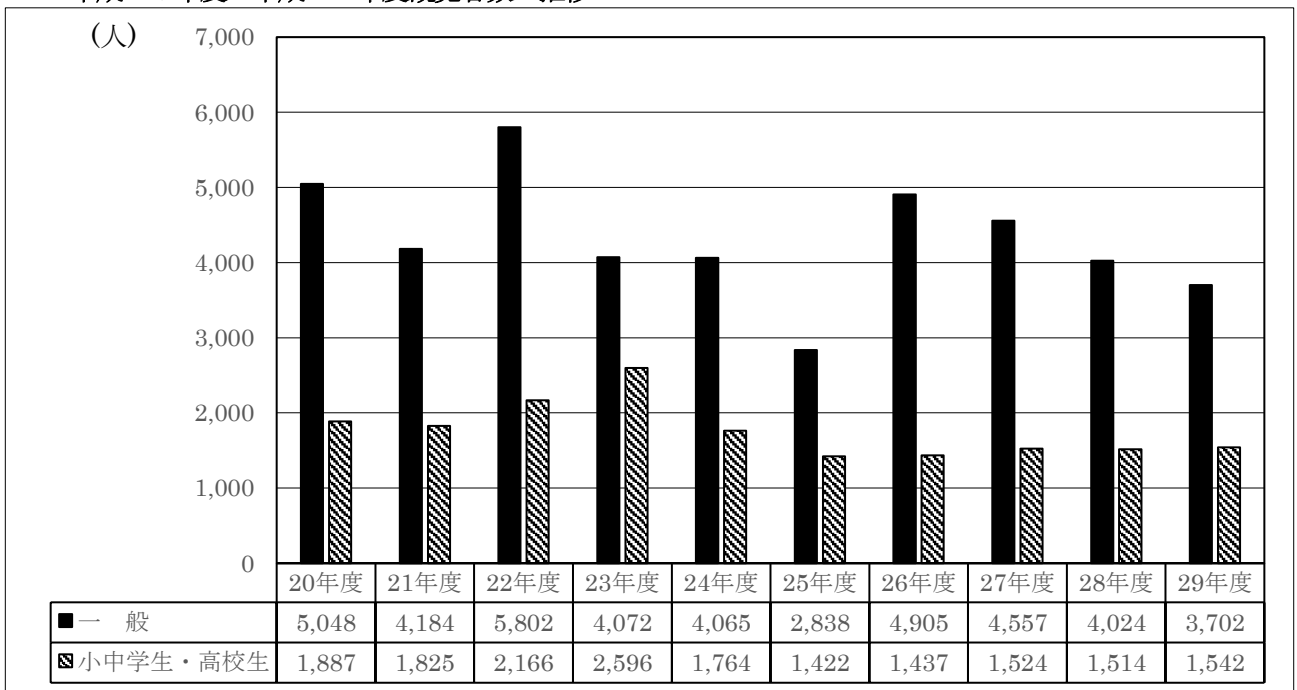
総観覧者数：5,244人（一般：3,702人 高校生：53人 小中学生：1,489人）



### 〔2〕 年度別観覧者数

総観覧者数：184,731人（一般：135,261人 小中学生・高校生：49,470人）

#### 平成20年度～平成29年度観覧者数の推移





## 8 予算

### 郷土資料館費

予算額 10,754,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

## 9 職員名簿

【平成29年4月1日～平成30年3月31日】

職名	氏名	就任期間	備考
館長	齋藤伸	H29. 4. 1 ~ H30. 3. 31	町立図書館長兼務
文化財班長	菅野達雄	H 6. 4. 1 ~ H30. 3. 31	学芸員
副班長	鈴木朋子	H18. 4. 1 ~ H30. 3. 31	学芸員
副班長	武田恵美	H24. 4. 1 ~ H30. 3. 31	学芸員
主事	佐藤凱	H27. 4. 1 ~ H30. 3. 31	

## 10 利用案内

### 〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

### 〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日（一部特別開館日を除く）
- ・館内整理日（毎月最終金曜日）
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

### 〔3〕 観覧料

- ・常設展示 一般200円(150円)／高校生100円(70円)／小中学生50円(30円)  
※( )内は団体20人以上の場合
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

### 〔4〕 無料開放日

- ・5月5日(こどもの日)
- ・8月16日、1月16日(伊達成実霊屋御開帳記念)
- ・11月3日(文化の日)
- ・3月3日(ひなまつり・休館日の場合は前日)
- ・仙台都市圏内の小中学生は通年無料
- ・仙南地域・石巻・大崎・気仙沼本吉地域広域圏内の小中学生は、毎週土曜日・日曜日・春休み・夏休み・冬休みの期間中無料



